

平成27年9月11日

桑折町議会議長 半澤 高 様

震災復興調査特別委員会

委員長 片平 秀雄

委員会報告書

平成23年第15回桑折町議会定例会において、本特別委員会が設置され付託された事件について、調査の結果を下記のとおり会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

東日本大震災対策について

2 調査の経過

○平成25年9月19日（第27回）

委員会を開催し、「中間報告」の内容について協議した。

○平成25年9月27日（平成25年第9回桑折町議会定例会）

本会議において、「中間報告」を行った。

○平成26年1月22日（第28回）

委員会を開催し、調査事項提案書に基づく今後の調査検討事項について協議した。

○平成26年2月13日（第29回）

委員会を開催し、NPO超学際的研究機構コーディネーター小林真弓氏を講師に、「再生エネルギーについて」をテーマとして研修を行った。

○平成26年6月5日（第30回）

委員会を開催し、①宅地除染の進捗状況及び今後の計画、②半田沼の耐震性調査結果、について担当課長より説明を受け質疑を行った。また、特別調査委員会の今後の調査について、協議を行った。

○平成26年8月11日（第31回）

委員会を開催し、①宅地除染の進捗状況及び今後の除染スケジュール（工業団地、防火貯水槽、半田山自然公園等）、②再生可能エネルギーの今後の推進、について協議を行った。

○平成26年10月20日（第32回）

委員会を開催し、講師に福島大学共生システム理工学類教授佐藤理夫氏を招き、「行政による再生エネルギー事業への取り組みについて」をテーマとした講演を聞き、懇談を行った。

○平成27年1月28日（第33回）

委員会を開催し、講師に菊池電設工業株式会社社長菊地吉浩氏を招き、『「再生可能エネルギー導入」自治体としての取り組み方について』をテーマとした講演を聞き、懇談を行った。

○商工業者に対する原発事故営業損害賠償打ち切り方針（素案）の撤回を求める意見書提出

○平成27年3月25日（平成27年第3回桑折町議会臨時会）

「再生可能エネルギー推進の町」宣言

○平成27年5月14日（第34回）

委員会を開催し、「今後の調査について」協議した。

○平成27年5月28日（第35回）

委員会を開催し、①「再生可能エネルギー推進の町」宣言の町として現在および今後の取り組み計画、②農業用剪定枝、改植事業の根や枝等の処理、③除染作業の進捗状況及び今後の除染計画、④防火水槽及び水路等の除染作業のマニュアル、⑤原発事故損害賠償、⑥平沢仮置場への搬入・搬出、について、それぞれ担当課長から説明を受け、質疑を行った。

○平成27年6月8日（第36回）

平沢仮置場及び搬入・搬出道路について現地において担当課長の説明を受け、質疑を行った。

○平成27年7月17日（第37回）

委員会として、「福島りょうぜん市民共同発電所」の視察を行ない、福島県北農民連事務局長から設置に至るまでの経過、事業の概要、太陽光発電を取り巻く現状と課題等の説明を受け、意見交換を行った。

○平成27年8月27日（第38回）

委員会を開催し、委員会報告（最終）の内容について協議し、決定した。

3 調査の結果

(1) 震災復興調査特別委員会は第27回開催の委員会において第1回から第26回までの調査報告をまとめ、平成25年9月27日（平成25年第9回桑折町議会定例会）本会議において中間報告を行った。

報告の主な内容は、災害復旧は一定の進捗は見たものの、原発事故からの脱却は先が見えない状況ばかりか、汚染水流出などの新たな問題が発生し、今後も長く続くことが予想される、町民の安全で安心な生活を取り戻すためには「除染」「健康」「賠償」等の課題の達成に全力をあげなければならない、よって今後も議会の

果たす役割は非常に大きく、町と共に全力を傾注し取り組まなければならないこととし、本委員会は引き続き調査を進めることとした中間報告がされた。

- (2) 第 28 回から第 38 回委員会も、引き続き除染計画（住宅、工業団地、半田山自然公園、防火貯水槽等）進捗状況調査、汚染土砂仮置場設置状況、平沢仮置き場への搬入・搬出経路など、町民の安全で安心な生活を取り戻すための調査をすすめてきた。仮置き場は関係者協力のもと 40 ケ所設置され、住宅除染は全て完了、今後は工業団地、半田山沼周辺及びキャンプ場、未除染公道等の作業が進められる。損害賠償問題では、「商工業者に対する原発事故営業損害賠償打ち切り方針（素案）の撤回を求める意見書」の提出もおこなった。
- (3) また、原子力に頼らない安全なエネルギー「再生可能エネルギー」についての調査も行い、エネルギー研究機構コーディネーターや福島大学教授、民間専門事業者などを招聘し研究すると共に、市民による共同発電所等の施設視察等も行い、再生可能エネルギー導入の検討調査もおこなった。平成 27 年第 3 回桑折町議会臨時会では「再生可能エネルギー推進の町」宣言がされ、本町にとって再生可能エネルギー導入への大きな一歩が踏み出された。

「再生可能エネルギー」はエネルギー安全保障の観点からも低炭素社会の実現など環境に負荷が低いとされる重要なエネルギーである。特に太陽光発電は、一般家庭の屋根などにも設置ができ、貴重な電気を発生させることができる裾野の広い発電システムである。しかし、コストが高いという課題等もある。今後、設備投資が短期で回収できるような技術革新を見極め、国県補助制度なども活用し本町に相応しい自然エネルギー普及促進に努めなければならない。

本委員会としては、今後も東京電力（株）福島第一原子力発電所事故の完全収束までの対応と事故以前の生活の確保、併せて再生可能エネルギー導入の実現が図られるよう更なる調査を望み報告とします。